

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第四中校 校長 難波 浩明

1 学校教育目標

自ら学ぶ人
心のひろい人
たくましく生きる人

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- (1) 読書活動を通して、読書意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
(2) 多様な資料から目的に応じた資料を選び、効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
(3) 望ましい図書館利用態度や活用技術を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	蔵書数 16,778冊（蔵書基準冊数 14,880冊）／蔵書率 112.8% 新規購入図書 1,213冊／廃棄図書 751冊／増減冊数 462冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	2%	9%	8%	9%	4%	3%	12%	12%	37%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：13:05～13:20、放課後（17:00まで）前年度からの変更なし ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 5.6冊（前々年度末：3.2冊） ③ 学校図書館利用率 503.0%（前々年度末：393.6%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 17,736冊（蔵書基準冊数 14,880冊）／蔵書率 119.2%（前年度末 112.8%） ② 新規購入図書 1,570冊／廃棄図書 612冊／増減冊数 958冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	2%	9%	9%	9%	4%	3%	12%	13%	36%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：13:05～13:20・放課後 17:00 まで（前年度からの変更 なし） ② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 9.9冊（前年度末：5.6冊） ③ 学校図書館利用率 1512.4%（前年度末：503.0%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①これまでの読書習慣を継続させながら、読書に親しむ態度を育てる。 ②調べ学習において、図書館資料を活用して必要な情報を収集できる能力を養う。 ③図書の借り方や扱い方などのしくみを知り、正しく利用する態度を養う。	
今年度の成果目標		達基準
① 学校図書館を利用して、継続した読書ができる。 ② 総合的な学習の時間の調べ学習や校外学習の事前学習などにおいて、図書館の資料を活用して探求活動を進めることができる。 ③ 図書館の利用の仕方について、基本的な知識を身に付ける。		①第1学年の生徒1人あたりの年間貸出し平均冊数前年度比10%増 ② 調べ学習や校外学習における事前学習実施の際の図書館利用率100% ③第1学年生徒の学校図書館オリエンテーション受講率100%
目標達成状況		
① 第1学年の生徒1人あたりの年間貸出し平均冊数 1人7冊→1人14.3冊 約2倍 ② 魚沼自然教室・都内巡りの事前学習→図書館利用率100% ③ 第1学年生徒の学校図書館オリエンテーション受講率→100%		

第2学年	① 様々な図書に興味をもち、幅広く読書に親しむ態度を身につける。 ② 興味、関心のある分野について、自ら資料や情報を収集する力を培う。 ③ 分類を理解し、読書や学習に学校図書館を活用しようとする態度を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を利用して、継続した読書ができる。 ② 図書館の資料を活用して、校外学習の事前学習や進路学習において、探求的な学習に取り組むことができる。 ③ 図書館のしくみについて理解し、必要に応じて活用することができる。	① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸出し平均冊数前年度比10%増 ② 校外学習の事前学習や進路学習における図書館活用率100% ③ 図書館及び蔵書を活用する授業(5教科以上の実施)
目標達成状況	
① 第2学年の生徒1人あたりの年間貸出し平均冊数 1人4.4冊→1人6.3冊 約1.43倍 ② 都内巡り・職場体験学習等→図書館活用率100% ③ 図書館及び蔵書を活用する授業→5教科以下にとどまった。	
第3学年	① 幅広い読書に親しみ、考えを深める態度を身につける。 ② 自分に必要な情報を収集し、課題解決を図り、学習や自己の進路選択に役立てようとする態度を養う。
今年度の成果目標	達成基準
① 様々な種類の本に興味をもち、読書の幅を広げることができる。 ② 修学旅行の事前学習で、図書館資料を活用して必要な情報を収集し、活用することができる。 ③ 自身の進路選択に必要な情報を収集し、活用することができる	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸出し平均冊数前年度比10%増 ② 修学旅行の事前学習や進路学習における図書館活用率100% ③ 図書館及び蔵書を活用する授業(5教科以上での実施)
目標達成状況	
① 第3学年の生徒1人あたりの年間貸出し平均冊数 1人3.2冊→1人6.3冊 約1.96倍 ② 修学旅行・進路学習等→図書館活用率100% ③ 図書館及び蔵書を活用する授業→5教科以下にとどまった。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 (1) これまで以上に、全蔵書のバランスのとれた新規図書の購入を図る。 (2) 探求活動で活用しやすいように、レファレンスブックなどを充実させる。	・蔵書構成基準を目標に選書を行い、理科や調べ学習に活用できる図書を多く購入した。授業で広く活用されていた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 (1) 学校図書館オリエンテーションでは、資料作成、実施を支援員と連携・協働して行う。 (2) 委員会活動において、図書だよりや掲示を通して、新着本の紹介などの活動を協働して行う。 (3) 特設コーナーを活用した情報の提供等を支援員と検討して取り組む。	・中1を対象に閲覧室にてオリエンテーションを実施した結果、利用者が増えた。 ・図書だより(四中山房)で紹介された本の貸出が増えた。 ・FUKUFUKUBOOK等イベントを通して、図書委員会が積極的に活動し、来館者が増えた。
【その他】 (1) 4階のエレベーターホールに学校図書館の魅力を伝える掲示を定期的に行う。	・エレベーター前・各学年の廊下へ図書案内等を掲示し、図書館への興味・関心を高めることができた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

5月の連休以降、新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、学校図書館の入室にかかる制約もなくなったことで、感染症前の環境に戻るとともに、学校司書や教職員の働きかけもあり、全学年ともに活用率が高まった。感染症の影響で入室に制約がある際に工夫して行った、循環型の学級文庫の各クラスへの設置も並行して行い、本の貸し出し冊数の増加に努めた。一方、総合的な学習の時間や国語、理科等の教科では、プレゼン用の資料づくりや、オリジナル植物図鑑、都内めぐり随筆集の作成、展示など、学校図書館の積極的な活用が見られたが、他の教科では、各教室での、一人一台タブレットによるインターネットでの情報収集や図書館の資料の活用に止まった。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

学校司書のサポートが実り、今年度も図書館内はもとより、図書館外の廊下や掲示板が有効に活用され、学校図書館の魅力が様々な角度から生徒たちに伝えられ、肯定的な評価を多くいただいた。また、学校が、今年度も継続して行ってきた、文庫本セットを各学級に配布し、学校図書を活用率を高める工夫を並行して行ったことについても、肯定的な評価をいただいた。図書委員会も、図書館日より（四中山房）やポスターづくり、様々なイベントなどを通して、本に興味・関心を持たせる様々な取組を積極的に実施していた。今後も充実を図っていただきたい。